



国際ロータリー第2500地区

すべてのクラブ会員様へ

2023-2024 年度を迎えるにあたり

できる限りカラー印刷していただき、クラブ全会員様にご展開ください。
公式訪問その他セミナー等で本紙の内容について触れさせていただく場合があります。
目をお通しいただき、**同年度終了までお手元に保管**ください。

2023 年 6 月 19 日

2023-2024 年度
ロータリー第2500地区
ガバナー 鶴見 誠一郎

2023-2024 年度 国際ロータリー 会長テーマ



ゴードン.R.マッキナリー氏



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度 国際ロータリー第 2500 地区 スローガン

今こそ変わる勇気を！さあ、一步前へ

2023-2024 年度 国際ロータリー第 2500 地区 活動方針

行動することに意味がある

1. ポリオ根絶活動を知り、理解し、プロジェクトに参加しよう
2. 志を高くもち、年次基金寄付クラブ100%を達成しよう
3. ロータリーの魅力を伝え、会員増強や新クラブ設立に積極的に取り組もう
4. DEIを推進し、今の会員を大切にし、新たな会員を歓迎しよう
5. 立てた計画は必ず実践し、その結果や成果を分析しよう
6. ひとつ以上の新たなことに挑戦しよう
7. 我々の奉仕活動を世論に広く知ってもらうよう取り組もう



鶴見 誠一郎

●はじめに

国際ロータリー第 2500 地区を発展させ、今日まで素晴らしい運営を行い、維持してこられたロータリアン諸先輩皆様と関係者様のご尽力に心より敬服いたします。また、2023-2024 年度の当地区ガバナーにわたしくが就任させていただきますこと、たいへん光栄であり、厚く御礼申し上げます。

最初のロータリークラブがアメリカ合衆国のシカゴで誕生して 118 年。順風満帆に凄まじい成長を遂げてきたように見える国際ロータリーですが、今まさにターニングポイントの時期を迎えていると言えます。ゴードン R I 会長の考え、そして、わたくしの想いも合わせて説明させていただきます。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●世界の現況

洪水や大地震などの自然災害が増え、新型コロナウイルスも未だ終息せず、長期化が予想されるロシアのウクライナ侵攻。多数の尊い命が失われ、家をなくし日常生活を取り戻すことができない人々が数えきれないほどいます。世界中が疲弊しています。



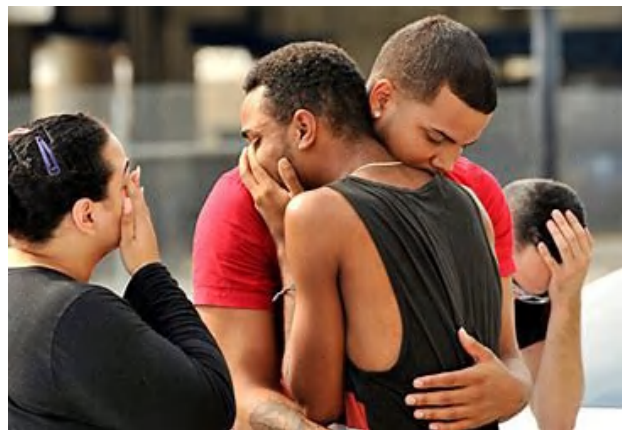
自然災害



新型コロナウイルス



ロシアのウクライナ侵攻



世界中が疲弊

●国際ロータリーの現況

疲弊しているのは、国際ロータリーやロータリアンの皆さんも決して例外ではありません。前項のような脅威だけではなく、他にも大きな壁が立ちはだかっているのです。

- ・世界のロータリーを牽引してきた先進国における会員の減少
- ・疾病や災害対策支出増で大幅な資金運用の見直しが急務

これらを改善すべく、国際奉仕、社会奉仕、地域奉仕のリーダーである我々ロータリアンも変わるべき時を迎えています。

●不幸からの脱却のカギは「希望」

ゴードン R I 会長は、世界そして国際ロータリーが抱える課題や不幸から脱却するためには、

- ・世界で希望を生み出し、
- ・世界が立ち直れるよう希望を取り戻し、
- ・我々ロータリアンが希望ある世界を築く手助けをしましょう

そう述べておられます。そこで誕生した R I 会長テーマが、

CREATE HOPE in the WORLD（世界に希望を生み出そう）です。

●希望ある世界を築く手助けをするために

ゴードン R I 会長は、「今、リーダーに大切なこと、それは【継続性】」だとおっしゃいます。一般的に継続性とは、

- ・同じことを単に続けること
- ・慣例や慣行にしたがうこと
- ・思考を止めて維持すること

このようなことを指すと考えられます。とても安心でき、とてもラクなことです。

しかし、「ロータリーでいう継続性とは、先人たちの優れたアイデアや取り組みを前進させること、そして、維持するために変化すること」と提唱されました。ごもっともだと思います。

さらに、年度目標には、

1. ポリオ根絶

- ・ロータリーの最優先課題
- ・ロータリーが35年という長きにわたり活動してきたことを大いに誇りに思うべき
- ・最近、世界の大都市でポリオが発生し、「根絶」について再び注目が集まっている
- ・世界の子どもたちがこれ以上危険にさらされる前に、根絶を目指す希望も打ち出す
- ・ポリオを理解し、ロータリーの夢を実現するために協力（寄付や支援）が必要

2. ローターアクトの地位向上

ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支援し合うための新たな方法を見出していく

3. 女子のエンパワーメント

世界中の女子（女兒を含む）たちが、強く、そして能力を身に付けた女性へと成長できるよう支援する、または、その成長を阻害するものを排除する

4. DEI（Diversity, Equity, Inclusion / 多様性、公平さ、開放性）の促進

ロータリーをオープンでインクルーシブな組織とし、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れる

5. メンタルヘルス

- ・ 真実から目を背けず、
- ・ 自分の弱さを認め、
- ・ 自分の不完全さを認め、
- ・ 勇気をもって誰かに助けを求めよう！！
- ・ 誰かを助けることで自分も助けられる！！
- ・ そう自分を変化させるのです

これに準じて、**国際ロータリーは奉仕を受ける人たちだけではなく、奉仕をする側の会員を支える組織でもある**ことも提唱しました。わたくしが当初より抱いていた想いと合致です。

- ・ 得意分野を継続し、
- ・ 持続可能な変化をもたらし、
- ・ その変化に対して前向きに、
- ・ 未来の土台を築きます！！

●今こそ変わるべき時です

このようにゴードン R I 会長はテーマや年度目標の決定に至った経緯や胸中を明かしました。世界に希望を生み出すには、そして、世界を変えるには、我々ロータリアン一人ひとりも変わる必要があるのではないのでしょうか。変わることは一種の挑戦です。居心地の良くないところへ行くことかもしれません。当然、不安も伴うでしょう。しかし、今変わらずして、いつ変わるのでしょうか。前進しましょう！！わたくしは、地区スローガンを

「今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ」とさせていただきます。

会員お一人の一歩前進が、地区（総会員数）として 2,000 歩以上の前進となります。

●今、何を感じて、描く未来に向かって、どのように行動するか

わたくしが、ガバナーノミニデジグネートを仰せつかった時から現在まで継続的に考えていることです。冒頭申し上げましたように、ロータリアン諸先輩皆様や関係者様のおかげで、今の国際ロータリーがあります。優れたアイデアや取り組みも多くあります。しかし、世界も社会も変わっている**今、何を感じて、描く未来に向かって、どのように行動するか**を考えましょう。過去に関する議論よりも、ロータリーに関する知識だけを取り込むよりも、何らかの成果を得ることができるよう **行動することに意味があります**（地区活動方針）。知識を取り込むことは、行動するためにももちろん必要なことです。

知識の取りこみ（インプット）：行動すること（アウトプット）＝2：8、わたくしはいつもこのように組み立てています。これを皆様に押し付けるつもりはありません。アウトプットがインプットよりも上回るよう心掛けをぜひお願い致します。

●地区活動方針 7 項目の実践が、変わるきっかけに

順不同になりますが、各項目についてまとめて全般的に触れさせていただきます。

- ・現在、日本の目標は年次基金おひとり 150 ドル、ポリオプラスおひとり 30 ドルです。
一括で考えず、**毎月わずか約 2,000 円ずつで達成**が見えてきます。上期のうちにクラブ様の寄付ゼロを達成しましょう！！寄付は志だから任意だと考えるのではなく、**志だからこそロータリアンとして前向きに考える**のです。寄付という言葉よりも**支援という言葉のほうが温かみがある**かもしれません。支援という言葉に言い換えてみるのも良いと思います。
- ・わたくしは、俗にいう**ファンクラブは、なぜ存在し、会員を増やし、維持できるのか？**
こんなことをよく考えたりします。魅力があって、引き付けられるものがあり、人の心を掴んで離さない。一体、何がそうさせているのでしょうか。これをロータリーに当てはめることはできないだろうか。当てはめるには、何をどうしたらいいのか。**クラブ様やロータリーに関し魅力ある活動の実施や情報を発信し続けることが不可欠**ではないでしょうか。これが会員の増加につながる第一歩と確信しています。
- ・せっかく立てた計画、実践せずに終わっていませんか？事業計画書を作成するためだけに立てた計画も経験があるのではないのでしょうか？正直に申し上げますと、わたくしは経験があります。結果はもちろん何も残りませんでした。また、事業計画が何年も固定化して毎年同じ内容で終わっていませんか？これは現状以上のものは生み出されません。まず、一歩前へ踏み出しましょう！！多くを求めず、**一つだけいい、新たなことに挑戦**してみてください。

さて、このたび新年度に向けて慣例と慣行を変えさせていただいたことがあります。

●公式訪問前のクラブ協議会の実施

対象を n 年度とします。

【例年】	【今回】
(n-1) 年度中のクラブアッセンブリー	(n-1) 年度中のクラブアッセンブリー
(n-1) 年度～ n 年度にかけて事業計画書提出	// 事業計画内容提出 (※)
	// クラブ協議会
n 年度での公式訪問 (会長幹事懇談会)	n 年度での公式訪問 (会長幹事懇談会)
// (クラブ協議会)	// (意見交換会)
// (例会)	// (例会)

おおよそ上記の内容となっています。

- ① ガバナーは (n-1) 年度中に、n 年度に向けての準備を開始し完了します (国際協議会)
- ② 会長エレクトも (n-1) 年度中に、n 年度に向けての準備を開始し完了します (PETS)
- ③ クラブ様は n 年度に入ってから、n 年度についての準備を完了する！？ (クラブ協議会)

地区内公式訪問は、7月10日頃に始まり、10月5日頃に終了します。これでは、クラブ様によっては最大で3ヶ月も差があり、n年度の準備完了も3ヶ月遅れるイメージに相当します。また、クラブ協議会で質疑があり回答に日数を要するような場合は、さらにまた遅れます。これでは年度の上期が終了してしまいます。

できるだけ早くクラブ様の情報や状況を知り、事業計画に則って取り組み、課題点を早期解決できること、これがベターであると考えました。クラブ協議会での質疑事項は遅くても公式訪問の際に回答できるような状態が理想です。これらは、小谷ガバナーエレクト、佐渡ガバナーノミニーにもご賛同いただいております、一過性ではなく今後も継続される予定です。

●事業計画書のご提出時期と範囲について

一部、誤解が生じているようでございますので、ここで説明させていただきます。クラブ様ごとに独自性がございます。歴史も慣例も慣行もそれぞれ異なります。そこに事業計画書作成も加わります。書式もさまざまで多種多様、どのクラブ様も素晴らしい計画書をお作りです。(n-1)年度の決算報告を掲載するために n 年度に入ってから事業計画書を完成されるクラブ様もございます。この場合、決算が確定していない(n-1)年度中に n 年度の事業計画書を製本化して提出できるはずがありません。当然理解しております。

本項右上段の (※) に関する事業計画内容提出、これについては次のとおりガバナー補佐様を通じて分区内の各クラブ様へお知らせいただけるようお願い致しておりました。

- ・製本化の有無は問いません
- ・あくまでも次年度に何をするかの事業計画について、情報だけで構いません（自由書式）
- ・(n-1)年度の決算内容は直接 n 年度に関わりが薄いと考えられるため、特段必要としません
- ・製本化完了後は計画書を公式訪問前までに 3 冊ご提出ください（全体像を把握したいため）

このような内容で、5 月末をめどに提出をお願い致しました。いかがでしょうか。真意が伝わっておりますでしょうか。

●公式訪問は前向きな進行を！！

ロータリーに関する歴史などを知ることは大切なことです。しかし、過去の何らかについて議論することは同じところ（現状）で足踏みしていることと同じです。さきほども述べましたように**今、何を感じて、描く未来に向かって、どのように行動するか**について、皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。

ガバナーは完全ではありません。ロータリーについて全てを知っているわけでもありません。国際ロータリーの近くに立ち、就任年度は地区内唯一の国際ロータリー役員として皆様をより良い方向へ導けるよう努めさせていただく役を担います。公式訪問において、夢や理想を語り合うのは素敵なことですが、皆様とわたくしが互いに知識を試し合うようなことがあったり、非現実的な難しい議論をしたりするようなことは決してあってはなりません。ロータリーを魅力あるものにしていくために、前向きな進行のご協力をお願い致します。

他に、一部のクラブ様より「なぜ？」というご意見をいただいております件です。

●地区大会の宿をなぜガバナー事務所が斡旋しないのか

紋別市という地域柄、ご承知のとおりご宿泊可能な受入キャパシティが限定的です。高層階を有されているホテル様もあれば、そうでないお宿、また、満室の場合は近隣市町村まで足を延ばしていただく必要がございます。ご心配ご不便をおかけしており申し訳ございません。

例年の地区大会登録者数またはご宿泊人数からしますと、旅行会社に依頼したとしても対応が困難な状態であります。そのようななか、仮に当方がお宿を斡旋させていただくとしまして市内ホテルまたはその他のお宿、近隣市町村のお宿、また、失礼とは存じますが客室のつくりも差がございます。そのお宿それぞれにご誘導させていただくクラブ様の選択、当方はどのように考えたらよろしいでしょうか。基準はどうあるべきでしょうか。公平性が保たれません。実行委員会や関係各位と繰り返し慎重に協議を重ねた結果、ご宿泊先はクラブ様でのお手配をお願いするに至りました。

●近年、地区行事などの登録料が高いのではないか

いつを基準として高いと判断なさるかにもよりますが、時代の推移とともに貨幣価値も変化していますので、これを背景に過去と比べると高くなっていると思われます。

また、地区行事（主にセミナーや地区大会）の開催についての登録料は明確に規定されておりません。ホストクラブでは、これら行事を開催するにあたっては利益を出さず、また、損をしないギリギリのラインでおさまるよう予想し、計算して皆様から登録料を頂戴しています。特に、最近では報道でもご承知のとおり、ホテルなどの会場、食材、部材、備品、外注その他ありとあらゆる費用が高騰しております。毎年、ガバナーは異なる地域から輩出されますが、大きな街での開催だから高い、小さな町での開催だから安い、そうとは限りません。その逆もあります。皆様へご提示している額につきましては様々な事情を踏まえ決定しておりますので何卒ご理解いただきたく存じます。

●いつもクラブ様とともに

ガバナーとクラブ様との関わりを強く感じることができるのは、公式訪問だけのイメージがあります。直接お会いできる機会も限定的です。クラブ様と関わりをもち、クラブ様の状況をいつもわかっていたい、そう思っています。「クラブ様への寄り添い」とも言い換えることができます。さらには、目配り・気配り・心配りを心掛けています。

そこで、状況をお教えいただくため「おうかがいシート（仮称）」を定期的にご展開申し上げご回答いただけたら幸いです。ご面倒をおかけするかもしれませんが、ご理解ください。

また、「2023-2024 年度が終了したら、わたくしのお役目も終了」、とは思っておりません。以降、他の方々がガバナーに就任されますが、その年度のガバナーを中心にわたくしは地区の一員として直接的にも間接的にも皆様のお役に立てるよう継続して努めさせていただきます。

●結びに

私たちはロータリアンです。奉仕の理想に集い、世界平和を望み、親睦を深め、心を一つにする。そして、自他ともに問うのです。真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか・・・と。

繰り返します。私たちはロータリアンです。私たちにはロータリーの中核的価値観ビジョン声明、行動計画があります。この敷かれたレールに沿ってで構いません、今の自分を変える勇気をもって、一歩前へ踏み出しましょう！！時代、社会、環境の変化に適応できるよう自らも変化するべきです。変わることは勇気のいることですが、自身が今ロータリアンであることを誇りに思いロータリーに夢と希望と情熱を抱き、後世へ繋いでいくことが私たちに託された大事な使命であると考えています。

世界のどこかで私たちの助けを待っている人たちがいます

We are Rotarians. わたしたちは ローターアンです

よりも

We are **the** Rotarians. わたしたちこそロータリアンです

そう言える自分でありたい



最後にもう一度。私たちはロータリアンです。どうあるべきか、何をすべきか。